

平成29年度

長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

第 2 回 委 員 会
会 議 録

平成29年10月26日（木）

長幌上水道企業団 1階事務所

平成29年度長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

日 時 平成29年10月26日(木)午前10時30分～午前11時30分

場 所 長幌上水道企業団 1階会議室

出席者 委員 5名

佐々木啓二委員長

多田良一副委員長

廣岡雅浩委員

内田一之委員

三歩幸光委員

長幌上水道企業団 4名

企業長

企業局長

施設課長

総務課長

目 次

1	開	会	3																												
2	企	業	長	挨	拶	3																									
3	審	議	3																												
	委	員	長	挨	拶	3																									
	水	処	理	実	験	に	係	る	水	処	理	方	式	比	較	に	つ	い	て	3											
	長	幌	上	水	道	企	業	団	第	2	浄	水	場	高	度	浄	水	施	設	整	備	事	業	評	価	案	に	つ	い	て	4
4	閉	会	7																												

1 開 会

- 企業局長

開会宣言

2 企業長挨拶

- 企業長

挨拶の概要

第2浄水場実験業者及び処理方式の内容を挨拶のなかで説明

3 審 議

- 佐々木委員長挨拶。

- 佐々木委員長

水処理方式比較について、事務局に説明を求める。

- 施設課長

資料2を説明。

- 佐々木委員長

水処理方式比較内容について質疑の確認。

- 佐々木委員長

B社とC社は膜の種別は違うが浸漬式とあるが動力費に違いがありすぎではないか。

- 施設課長

B社については、高低差を利用し自然流下で水処理を行い、最低限の引抜

ポンプしか使用しないため、動力費の低い提案をしてきた。

C社については、平面で水処理を行うので引抜ポンプが大容量のポンプを使用するのと膜の表面を常時洗浄するため、下から空気を送るブロワーを使用するので動力費が高くなる。

また、構造上、B社は膜を縦に設置し、C社は横に設置するため泥が溜まりやすいので、空気による洗浄を常時行う必要があるので、B社よりC社のほうの動力費が高くなる。

○佐々木委員長

わかりました。あともう一点、基礎部分の金額が建設費に上乗せになるのか確認したい。

○ 企業長

事前評価の中でも総体的な説明を行うが、これから土質調査などを行い、杭のピッチも決まってくるなかで、約2億を見込んでいる。

○ 佐々木委員長

わかりました。ほかに質疑がないか確認。

○ 委員一同

なし。

○ 佐々木委員長

長幌上水道企業団第2浄水場高度浄水施設整備事業事前評価案について、事務局に説明を求める

○ 施設課長

資料3の説明。

○ 佐々木委員長

事前評価案の内容についての質疑の確認。

○ 委員一同

なし。

○ 佐々木委員長

意見、質問等がなければ、長幌上水道企業団第2浄水場高度浄水施設整備事業事前評価案を原案とおりに承認し、北海道を通じて厚生労働省に提出することに異議はないか。

○ 委員一同

異議なし。

○ 佐々木委員長

異議はないようなので原案とおりに承認とすることに決定をする。

あともう一つ質問になるが、導水管及び送水管の布設と既設の第2浄水場の取壊し等も30億の金額で、どこまで含まれるのか。

○ 企業長

あくまでも概算の金額で30億としているが、既存の施設内の敷地内でも建替えを検討したが、既存の敷地内で浄水場を稼働しながら建替えをするスペースが無く、周辺の景観等も考慮した結果、代替地として図に記載して

いる場所に新設する考えである。

調査設計、実設計を行わないと金額は見えてこないが、今は解体を含めて30億の金額の中で見込んでいる。

○ 佐々木委員長

わかりました。補助事業になった場合に南幌町の負担割合はどうか。

○ 企業長

補助事業になった場合でも、30億すべてが補助対象となるわけではなく、高度浄水処理の補助であり、それにとまわらない項目については対象外となる。30億に対して8割は補助対象事業費と見込んでおり、24億が補助金の基本ベースの額となり、そのうち4分の1が補助金の対象となるので6億が補助金としての額として見込んでいる。30億のうち、補助金6億を差し引いた24億を施設負担区分により南幌町が9割、長幌上水道企業団が1割となるので、南幌町の負担としては21億6千万、長幌上水道企業団の負担としては2億4千万となるが、起債の借入の関係により21億6千万のうち南幌町が単独で借入をする場合に4億5千万が地方交付税の対象になる見込みがあるので、南幌町の負担としては17億程度が負担額と見込みで考えているが、概算の金額30億の増減及び補助対象施設により8割なのか7割5分なのか8割を超えることはないと思われるが、それにより金額の変更はあると見込んでいる。

○ 佐々木委員長

わかりました。いずれにしても企業長がよく言っている安心な水を安定的に南幌町に供給するには企業団の配慮も必要であり、財政面に関しても負担の少ない額の提示をお願いしたい。

4 閉 会

○ 佐々木委員長

これで本日の委員会を終了しますが全体を通してご意見ありますか。

○ 委員一同

なし。

○ 佐々木委員長

なければ本日の委員会を終了します。ご苦労様でした。

この会議録は長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会の会議内容を取りまとめたものである。

平成29年10月26日

長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

委員長

佐々木 啓 